第 33 回一志会例会　レポート　　平成 28 年 4 月 20 日

ゲスト　下村 朱美 氏

一志会は、「公の精神」のもとに積極的に社会的責任を果たそうとの想いを共有する大企業経営幹部の「コミュニティー」ですが、4 月 20 日に第 33 回例会を開催しました。

今回は、㈱ミス・パリ代表取締役、(一社)東京ニュービジネス協議会会長の下村朱美氏をゲストにお迎えし、「日本を美容大国にする-男のおしゃれと私の人生-」と題し卓話を頂きました。下村氏は、24 歳で大阪に「明確な理論を持つエステティックサロンを作りたい」との想いから、1982 年にサロンをオープンされました。その後、美は女性のものとイメージされていた中で男性エステにいち早く注目され、「男のエステ ダンディハウス 」を運営される等、男性エステの先駆けとなられました。美容業界において一代で全国規模からアジア地域に進出するにまで組織を成長させ、30 年来にわたり美の追求に情熱を燃やし続けている女性経営者です。また下村氏は、このような経営者としての高い評価から、2 年前に女性初の東京ニュービジネス協議会の会長にも就任されています。

下村氏は、冒頭において、男性のおしゃれに対する想いが込められたエピソードを語られました。当時、日本のサラリーマンのスーツ姿が貧相であることに悲しみを覚え、日本の男性をいい男にしたい、世界に出ても恥ずかしくない男にしたいとの思いに至り、1986 年当時として目新しい男性エステを立ち上げられました。今では、「おしゃれは、自分の生き方・考え方を表現する手法」、「見られたい自分になる事が、おしゃれ」と男性のおしゃれが世間に認知されるまでとなりました。

また、下村氏は、おしゃれ、美と日本特有の長寿、癒し、和、安心・安全を融合し、日本の素晴らしさを世界に発信することは国益に繋がると使命感に溢れ、日々活躍されています。エステ経営を行われている一方で、ミス・インターナショナルに協賛され、世界各国のミスを日本に一同に集め、ミスに日本の素晴らしさを感じてもらうことを通じて、世界に日本文化を発信する一助になりたいとお話を頂きました。

卓話の中では、美への想い、日本への想いを語り、癒し溢れた語り口に皆引き込まれていきました。参加された会員は、一様にお洒落に目覚められ、「恥ずかしさを克服し、経営者としての想いを表現するため、よりお洒落に気を配って行きたい」、「日本特有の美、素晴らしさを、広く海外に発信することの使命感に引き込まれた」等の意見が聞かれました。

下村氏　卓話風景

あずさ監査法人 山田氏　事業紹介風景

続いて、会員の事業紹介コーナーで、有限責任 あずさ監査法人の山田氏から、「会計監査の動向-最近の不正事案を受けて-」と題し、監査業界の取り巻く状況について、マーケット状況のご説明をいただくとともに、不正事例と規制の歴史、会計監査の今後の方向性についてご紹介を頂きました。

その後の会員の交流時間帯では、今回初参加となる、木下・ｴｲﾋﾟｰﾋﾟｰ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ 代表取締役兼 CEO から自己紹介を頂きました。

続いて、会員からの近況報告として、柳瀬・駐車場綜合研究所 副会長、土本・東京証券取引所 取締役専務執行役員、宮川・イトーヨーカ堂 執行役員から、それぞれホットな報告をいただきました。

APPJ 木下氏

駐車場綜合研究所
柳瀬氏

東京証券取引所
土本氏

イトーヨーカ堂
宮川氏

その後も、ゲストの下村氏を囲んでの交流が続き、大変にぎやかな雰囲気となりました。

歓談風景①

歓談風景②